

1. 会議の概要

名称:

The 18th MICROOPTICS CONFERENCE (MOC '13)

主催/共催機関:

The Japan Society of Applied Physics

開催場所:

Tokyo institute of technology, Tokyo, Japan

日時:

27-30, October, 2013

発表件数 (oral/poster) :

オーラル 54 件

ポスター 79 件

会議概要 (歴史・セッション構成など) :

この会議は今年が 18 回目、応用物理学会の Microoptics Group によって組織されている。Microoptics に関する広い話題を、基礎から応用まで扱っている。MOC'13 のセッションは、Transmission Technologies and Devices、VCSELs、Display and Illumination、Green Photonics、Optical Switches、Functional Devices、Interconnection、Sensing、Imaging であった。

2. 発表内容

発表者名:

浅倉 秀明

Title:

High-speed, hybrid integrated, 1x2 wavelength selective switch using PLZT optical switches and silica planar lightwave circuits
(Session F – No. 4)

発表概要:

PLZT 光スイッチと石英合分波回路をハイブリッド集積した波長選択スイッチの試作結果を報告した。波長選択動作の損失、クロストーク特性と波長切り替えの立ち上がり立ち下がり時間の特性を報告した。

反響と感想:

会場となった東京工業大学大岡山キャンパスは、その場所が慶應大学矢上キャンパスにとっても近く、参加に関して緊張することはなかった。私の発表に対しては、「損失低減の可能性」、「光スイッチの過渡応答の立ち上がり立ち下がりの違い」について質問を頂いた。後者については、これまで深く考えたことがなく、目標値の達成だけを目的としていた自分の考えの甘さを感じた。マイクロコンサートが行われ、参加者全員による合唱で東日本大震災の復興を願った。